

## 「共謀罪」 トッコウ思い出す

主婦

(愛媛県 75)

1946年春、朝鮮半島か

ら家族で本土に引き揚げた。

父はなぜか脱走兵2人を家に

かくまっていたので、その2

人も一緒に。幼い私は元脱走

兵に背負われて帰った。特高

(特別高等警察)に見つかれ

ば、家族も殺されると父は言

った。私は「トッコウ」がた

だ恐ろしかった。

「共謀罪」法案は19日、衆

院委員会で与党が採決強行し

可決した。私はものすごく空

しい。悲しい。特高は戦前戦

中の治安維持法下、盗聴、監

視、拷問などで国民を弾圧し

た。法案は「現代版の治安維

持法」だ。穏やかな日常が根  
底から覆されないかと、心配  
でたまらない。

法案審議で安倍晋三首相や

金田勝年法相らの答弁に私は

不誠実さを感じた。政府は、

政治は、警察は、国民を守る

ためにあるのだらう。なぜも

っと時間をかけて説明しない

のか。なぜ野党の質問をはぐ

らかし、議論を深めないのか。

私は「伊方原発をとめる

会」や「とめよう戦争への道

！百万人署名運動」など政府

の政策に反対する市民運動を

している。

私は「一般人」ではなく、

監視対象なのだろうか。悪法

はやめるべきだ。